

# 合格体験記 (A O 方式入学者選抜)

第 I 項 生活科学部 食物栄養科 学科

出身高校名 清心女子高等学校

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

将来、食について学びたいと考えた時、この京都という立地に惹かれました。また、「他者のために学び、生きる」という教育理念に魅力を感じ、自分を力強い社会のリーダーとして、成長させてくれる場だと思ったからです。オープンキャンパスに行った際にも、学生さん達が皆充実した顔をしていたので、自分もこの同志社女子大学に入学し、充実した日々を送り、自身を成長させたいと考えたからです。

- (2) A O 方式入学者選抜を受けようと思った理由。

カトリックの高校に通っており、キリスト教に馬川深みがあつたのと、高校での活動がAOで生かせると思ったからです。また、第1志望の学校だったので、チャンスを増やす意味でも、挑戦してみようと思いました。私の高校から第I項で同志社女子大学に入学した人が居なくて、不安でしたが、何度もオープンキャンパスに足を運んだ経験を生かしてみようと思いました。

- (3) A O 方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

課題研究を行ってきたことやキリスト教の活動に関しては委員会、学校での取り組みなどをアピールしました。これらのことをただアピールするのではなく、どのような影響を自分に与えたのか、何を得たのかなどを書くことが重要だと思います。活動自体も重要ですが、それ以上に活動を通して得たことから分かる人間性であったり、その人の意志が見られているのではないかと私は思います。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

要項がかなり早めに公開されるので、書類の準備期間が充分にあると思います。じっくり時間をかけ、複数の先生方に見てもらうと良いと思います。私は文章を書くことが苦手だったので先生方からたくさんアドバイスを頂き、書類を作成しました。信頼できる人がいると、気持ち的にも安心して書類を作成できると思います。また、読みやすい字を心がけて書きました。良い文章も汚い文字では印象が悪くなってしまうと思います。

〔面接〕

どのような質問が来るか分からなかったので、教科書問わす、男性、女性 様々な先生方に面接の練習を頼みました。そのことにより、どのような質問が来ても動じずに、堂々と答えられたと思います。また、キリスト教での選抜ということで、宗教の先生に頼み、対策をお願いしました。

本番では、いこやかにそしてハキハキと話すことを心がけ、緊張して早口にならないように気をつけていました。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

レポートなどは大変でしたが、その過程で自分自身を見つめ直したり、大学で挑戦してみたいこと、将来の夢などが具体的に増えてきたことにより、同志社女子大学に入りたいという思いが強くなりました。それがモチベーションとなりどんなことも成し遂げられることができました。受験を控えている皆さんも苦労ある事もあるかもしれませんが、自分の熱意をしっかりと伝えられるように頑張ってください。応援しています!!!